



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クレハ

コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩崎 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長

(氏名) 数井 明生

TEL 03-3249-4651

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	93,986	△6.1	8,477	45.4	7,979	55.0	1,278	△57.4
23年3月期第3四半期	100,143	2.5	5,831	△5.2	5,147	△14.2	2,999	3.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 144百万円 (△85.8%) 23年3月期第3四半期 1,021百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	7.45	7.44
23年3月期第3四半期	17.11	17.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	182,428	87,976	47.7
23年3月期	181,753	89,500	48.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 87,059百万円 23年3月期 88,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△1.7	7,500	18.1	7,000	24.1	500	△27.8	2.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 吳羽(中国)投資有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	181,683,909 株	23年3月期	181,683,909 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	10,023,481 株	23年3月期	10,017,010 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	171,668,427 株	23年3月期3Q	175,281,680 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	P4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P4
3. 四半期連結財務諸表.....	P5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P9
(4) セグメント情報等.....	P9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の連結売上高は前年同期比6.1%減の939億86百万円、営業利益は前年同期比45.4%増の84億77百万円、経常利益は前年同期比55.0%増の79億79百万円となりました。

四半期純利益につきましては、東日本大震災の余震等に伴う災害損失等を計上し、前年同期比57.4%減の12億78百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	前第3四半期	当第3四半期	増減	前第3四半期	当第3四半期	増減
機能製品事業	25,440	23,974	△1,465	269	1,416	1,146
化学製品事業	25,504	23,273	△2,231	4,109	4,379	269
樹脂製品事業	32,292	28,515	△3,777	1,827	2,053	225
建設関連事業	8,139	8,827	688	△750	740	1,491
その他関連事業	8,766	9,395	628	115	710	594
消去	—	—	—	260	△822	△1,082
連結合計	100,143	93,986	△6,157	5,831	8,477	2,645

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は東日本大震災の影響により国内工場が5月中旬まで操業休止となりましたが、米国における合弁事業の増産態勢の進捗により、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は、リチウムイオン二次電池用バインダー用途及び工業用素材用途が5月初旬まで操業休止となりましたが、第2四半期から挽回し、売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

炭素製品分野では、炭素繊維は太陽電池パネル製造用等の高温熱処理炉用断熱材用途の需要増加に震災前の在庫を活用して対応しつつ、第2四半期から生産を挽回したことに加え、前期までの設備償却負担も減少し、又、特殊炭素材料は電池用負極材用途の早期操業再開に努め、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

PGA(ポリグリコール酸)樹脂は、米国における工場建設が完了したものの、試運転段階であり、営業損失は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比5.8%減の239億74百万円となり、営業利益は前年同期比426.0%増の14億16百万円となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」、慢性腎不全用剤「クレメジン」共に売上げが減少いたしました。コスト削減を図り、又、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出が増加し、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類、クロルベンゼン類は5月中旬に製造工場が操業を再開したものの、一部に震災からの需要回復の遅れがあり、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比8.7%減の232億73百万円となり、営業利益は前年同期比6.6%増の43億79百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは前年同期に比べ増加し、家庭用ラップ「NEWクレラップ」は原料である塩化ビニリデン樹脂製造工場の操業度回復に第2四半期まで時間を要しましたが、第3四半期から挽回し、経費等の節減もあって、この分野の営業利益は前年同期の水準に近づいてまいりました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルムは売上げが減少し、ラミネート用ハイバリア・フィルム「ベセーラ」は事業譲渡いたしました。多層ボトルは売上げが増加いたしました。クレハ・ベトナムの製品はコスト負担を吸収するまでに至りませんでした。引き続き改善傾向にあり、又、欧州子会社は材料費が高騰したものの、売上げが増加し、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

包装機械はクリップレス自動充填結紮機の大口出荷がありましたが、輸出が減少し、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは塩化ビニリデン樹脂製造工場の操業度回復に時間を要し、両製品共、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比11.7%減の285億15百万円となり、営業利益は前年同期比12.3%増の20億53百万円となりました。

④建設関連事業

建設事業は、震災の影響により前期から繰り越された公共工事の完工に加え、復旧・復興関連工事により前年同期に比べ売上げは増加し、営業損益は前年同期の営業損失から営業利益となりました。

エンジニアリング事業は、震災の影響により前期から繰り越された工事の進捗があったものの、新規の大型案件受注がなく、前年同期並みの売上げとなりました。経費削減等に努めた結果、営業損益は前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比8.5%増の88億27百万円となり、営業損益については前年同期7億50百万円の営業損失から7億40百万円の営業利益となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、取引先企業が被災した影響もあったことから稼動減となり、前年同期に比べ売上げ、営業利益共に減少いたしました。

環境事業は、既存事業所（福島県いわき市）において震災による廃棄物処理が大幅に増加したことに加え、新事業所（神奈川県川崎市）での受注量・受注単価の増加もあり、前年同期に比べ売上げは大幅に増加いたしました。又、営業損益は前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比7.2%増の93億95百万円となり、営業利益は前年同期比513.8%増の7億10百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、震災直後の売上げ・生産減少からの回復による債権・たな卸資産の増加、前期末における緊急時の手元流動性確保からの解除による現金及び預金の減少等を差し引きした結果、前期末に比べ9億4百万円増の650億65百万円となりました。有形固定資産は、海外生産拠点を含む高水準の設備投資が償却費増加を上回り、前期末に比べ21億86百万円増の861億4百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より下落したことにより、前期末に比べ24億15百万円減の303億90百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ6億75百万円増の1,824億28百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は短期借入金及び社債の増加とコマーシャル・ペーパー及び長期借入金の減少との差し引きにより、前期末に比べ15億52百万円増の564億36百万円となり、操業度回復に伴う仕入債務の増加、震災後の復旧工事進捗に伴う災害損失引当金の減少等により、負債合計として前期末に比べ21億99百万円増の944億52百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純利益12億78百万円を計上、剰余金の配当17億16百万円を実施し、株式の評価差額金の減少、少数株主持分の増加などの差引きとして、純資産合計は、前期末に比べ15億23百万円減の879億76百万円となりました。

このような総資産の変動は、震災による債権債務の変動、株価等の外部要因を除いて、海外等の設備投資及び一部設備稼働に伴い、追加的資金調達を行うなど事業展開を進めたことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期の業績は、東日本大震災及びその後の余震による被害からの復旧後、順調に回復いたしました。しかしながら、今後の日本経済の見通しにつきましては、各種の政策効果などを背景に、景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されますが、欧州債務危機等の影響や海外景気の下振れ懸念及び円高等から不透明な状況にあり、予断を許さない状況が続くものと予想されます。なお、当社グループの第4四半期業績につきましては、需要が後退している太陽電池向けの部材が調整局面となるなど、厳しい事業環境となるものとみております。

以上を踏まえ、通期の連結業績といたしましては、11月2日に発表いたしました業績予想を修正し、売上高は1,300億円（前期比1.7%減）、営業利益は75億円（前期比18.1%増）、経常利益は70億円（前期比24.1%増）、当期純利益につきましては5億円（前期比27.8%減）を予想しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,746	8,593
受取手形及び売掛金	27,294	28,889
商品及び製品	12,800	13,052
仕掛品	1,381	1,783
原材料及び貯蔵品	5,013	5,064
その他	7,023	7,775
貸倒引当金	△98	△94
流動資産合計	64,161	65,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,519	27,670
機械装置及び運搬具（純額）	22,711	20,260
建設仮勘定	17,886	23,118
その他（純額）	14,800	15,053
有形固定資産合計	83,917	86,104
無形固定資産	868	869
投資その他の資産		
投資有価証券	18,184	15,942
その他	14,737	14,574
貸倒引当金	△116	△126
投資その他の資産合計	32,805	30,390
固定資産合計	117,591	117,363
資産合計	181,753	182,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,156	16,900
短期借入金	13,455	15,291
未払法人税等	673	457
賞与引当金	1,977	863
災害損失引当金	1,821	656
役員賞与引当金	28	37
その他	16,939	16,215
流動負債合計	49,051	50,422
固定負債		
社債	20,000	25,000
長期借入金	17,429	14,145
退職給付引当金	769	689
役員退職慰労引当金	365	324
環境対策引当金	163	163
資産除去債務	774	782
その他	3,698	2,923
固定負債合計	43,200	44,029
負債合計	92,252	94,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,456	9,149
利益剰余金	71,935	71,803
自己株式	△4,542	△4,543
株主資本合計	89,310	88,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,723	3,531
繰延ヘッジ損益	△36	△65
為替換算調整勘定	△4,164	△5,275
その他の包括利益累計額合計	△477	△1,809
新株予約権	64	77
少数株主持分	603	839
純資産合計	89,500	87,976
負債純資産合計	181,753	182,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)
売上高	100,143	93,986
売上原価	73,916	66,670
売上総利益	26,227	27,316
販売費及び一般管理費	20,395	18,838
営業利益	5,831	8,477
営業外収益		
受取利息	46	41
受取配当金	556	624
持分法による投資利益	247	162
その他	188	261
営業外収益合計	1,038	1,090
営業外費用		
支払利息	599	586
売上割引	372	259
為替差損	448	279
その他	302	463
営業外費用合計	1,722	1,587
経常利益	5,147	7,979
特別利益		
事業譲渡益	—	700
固定資産売却益	5	10
投資有価証券売却益	210	8
その他	84	136
特別利益合計	300	854
特別損失		
災害による損失	—	3,754
投資有価証券評価損	44	1,300
固定資産除売却損	249	1,117
減損損失	—	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	184	—
その他	215	118
特別損失合計	693	6,363
税金等調整前四半期純利益	4,754	2,471
法人税等	1,617	976
少数株主損益調整前四半期純利益	3,136	1,495
少数株主利益	137	216
四半期純利益	2,999	1,278

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,136	1,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△651	△207
繰延ヘッジ損益	—	△28
為替換算調整勘定	△1,308	△1,079
持分法適用会社に対する持分相当額	△155	△34
その他の包括利益合計	△2,115	△1,350
四半期包括利益	1,021	144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	900	△53
少数株主に係る四半期包括利益	120	198

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,440	25,504	32,292	8,139	8,766	100,143	—	100,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	589	250	797	3,790	5,851	11,279	△11,279	—
計	26,029	25,755	33,090	11,930	14,617	111,423	△11,279	100,143
セグメント利益又は 損失(△)	269	4,109	1,827	△750	115	5,571	260	5,831

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,974	23,273	28,515	8,827	9,395	93,986	—	93,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,032	258	837	7,650	5,127	14,906	△14,906	—
計	25,007	23,531	29,353	16,477	14,522	108,893	△14,906	93,986
セグメント利益	1,416	4,379	2,053	740	710	9,300	△822	8,477

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。